

えんちょう通信

No.18

令和2年6月5日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤一男

みんなで知恵を出し合い、工夫して保育を進めていきます



[やっぱりブランコは楽しいよね]

今週から本格的に幼稚園の教育活動が再開されました。毎日「キー、キー、キー」とブランコをこぐ音が園庭に響きわたります。ようやくいつもの幼稚園になりました。

しかし状況は相変わらず厳しく、まだまだ気をゆるめることはできないと言われてています。

そのような中でも、できることは何なのか、どんな工夫をすれば実施できるのか、先生方で知恵を出し合って、保育を進めていきます。

「遠足もバスで行けないなら、自分の足で歩いていく遠足にしたら、体力もつくし、地域みなさんとかかわることもできるではないか・・・。」

「保育参観も、参観する方が分散するように午前中、いつでも見られるようにしたら、より『開かれた幼稚園』になるのではないか・・・。」

「今までどおり」やろうとするのではなく、別の方法を考えてみる。そうすると、今まで気づかなかったことが見えてくるかもしれません。新たな保育の在り方が見えてくるかもしれません。

子どもたちにとっては、かけがえのない一年です。「学び」のある豊かな経験をさせてやりたいと考えています。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いします。

園外保育「歩いて出かけてみよう！」

今年初めての園外保育に出かけます。自分の足で歩く楽しさを味わい、身近な自然や地域の皆さんと関わる経験ができればいいなと思っています。

保護者の方の引率ボランティアをお願いしたいと思います。ご協力をお願いします。

- 期日 6月23日(火) 9:00～10:45
※ 天候の悪い場合は25日(木)に延期します。
- 場所 ちゅうりっぷ組 国登録有形文化財「佐藤家住宅」
ひまわり組 安齋さんの田んぼ
(飯坂線岩代清水駅前の田んぼ)
- 引率 全職員6名 引率ボランティアのみなさん



[田んぼの下見をしてきました]